

JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

・開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Microsoft Visual C++ 2015 Professional(以下 VC++ 2015 と省略)で使えるように環境設定を行ないます。

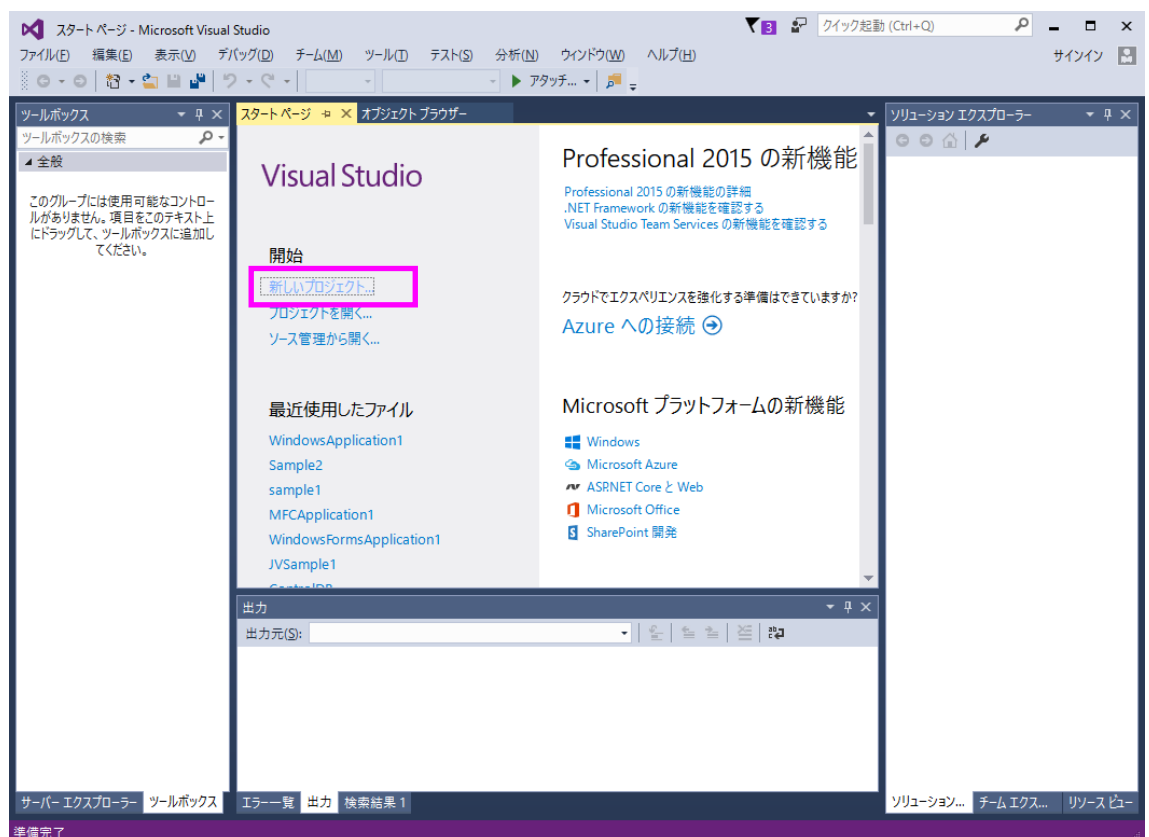
【 今回の目標 】

プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

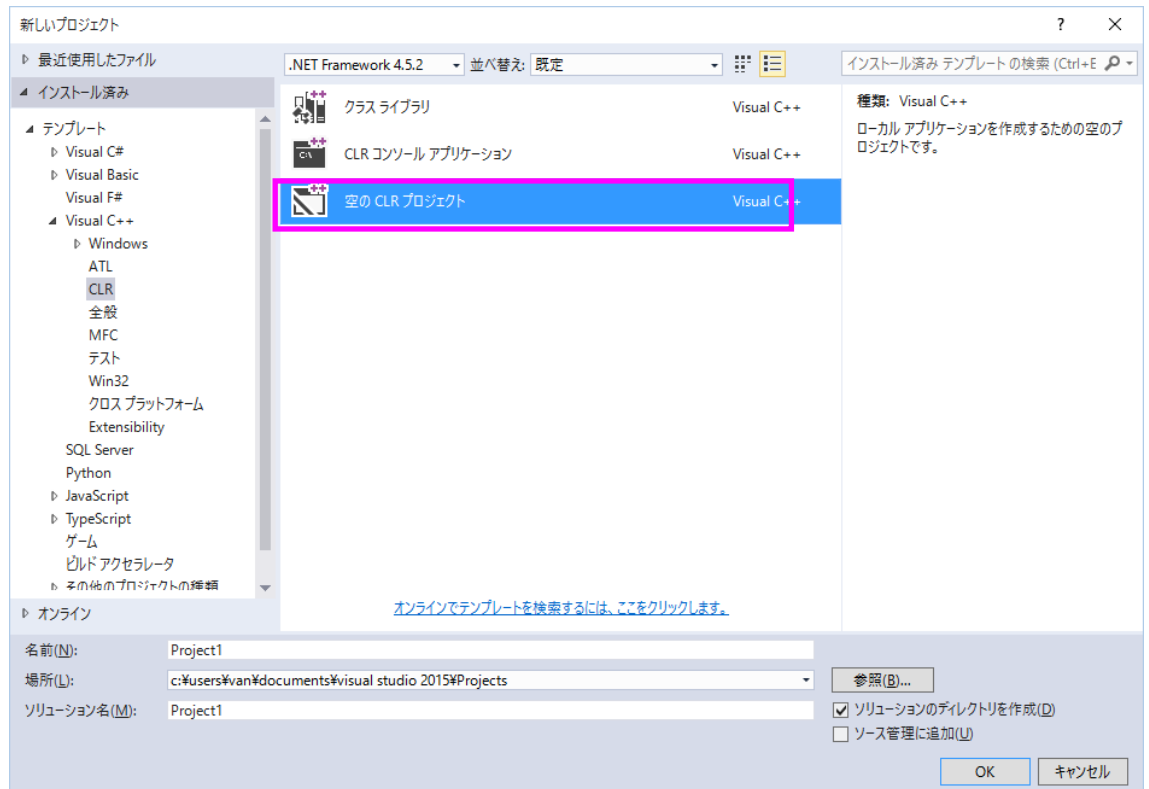
【 やってみよう 】

JV-Link をコントロールに追加しよう

- ① VC++ 2015 を起動し、「新しいプロジェクト」ボタンをクリックする。

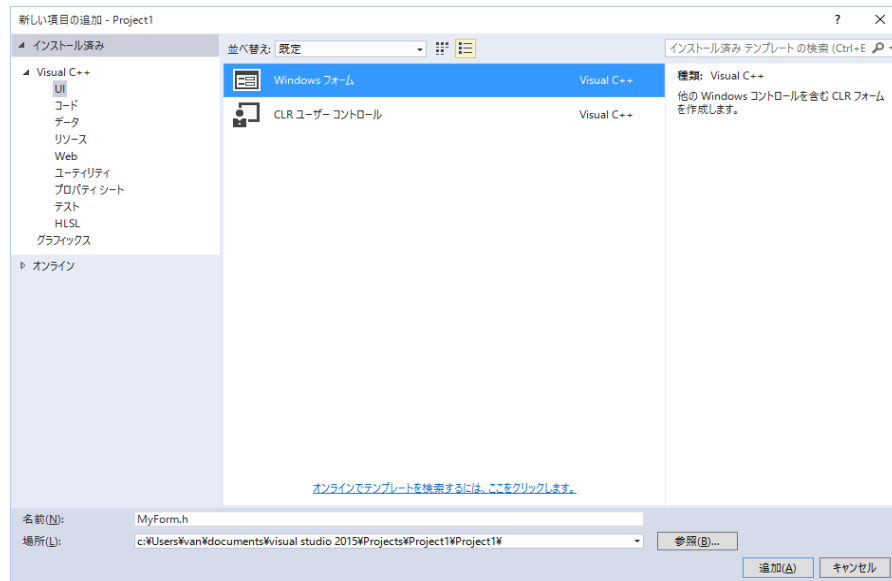


- ② テンプレートで「空の CLR プロジェクト」を選択し、名前とソリューション名に
適当な名前を入力して「OK」ボタンをクリックする。



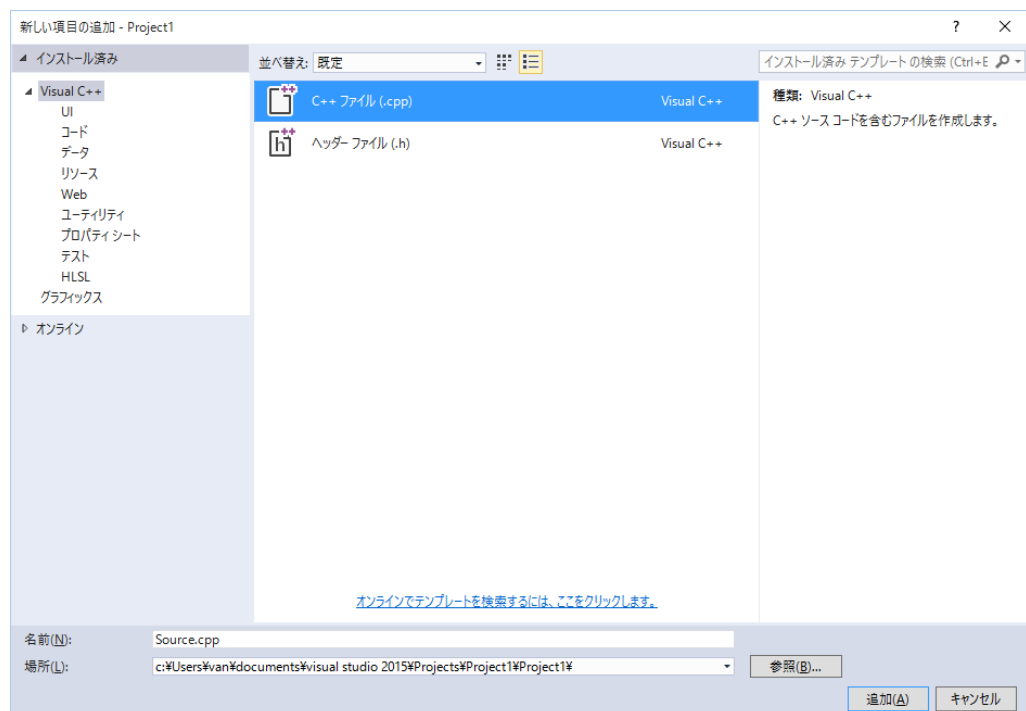
- ③ メニューバーのプロジェクト(P)-新しい項目の追加(W)を選択して、
VisualC++-UI-Windows フォームを選択し名前に適当な名前を入力して「OK」ボ
タンをクリックする。





※フォーム追加によってエラー画面が表示されることがありますが、
ここでは無視して次の手順に進んでください。

- ④ ③同様にメニューバーの**プロジェクト(P)・新しい項目の追加(W)**を選択して、
VisualC++-C++ファイル(.cpp)を選択し名前に適当な名前を入力して「OK」ボタン
をクリックする。



- ⑤ 新しいソースが下のように表示されます。表示されたエディタに以下コードを記載してください。

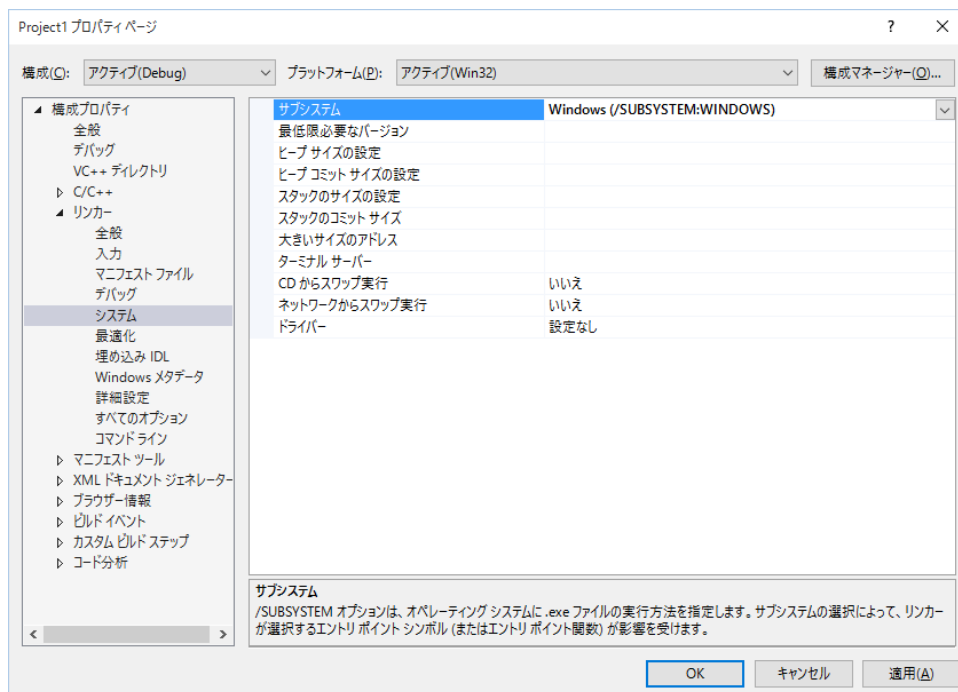
```
#include "MyForm.h" // Form名.h

using namespace System;
using namespace System::Windows::Forms;

[STAThreadAttribute]
int main(array<String>^ args) {
    Application::EnableVisualStyles();
    Application::SetCompatibleTextRenderingDefault(false);
    // gnew プロジェクト名::Form名()
    Application::Run(gnew Project1::MyForm());
    return 0;
}
```

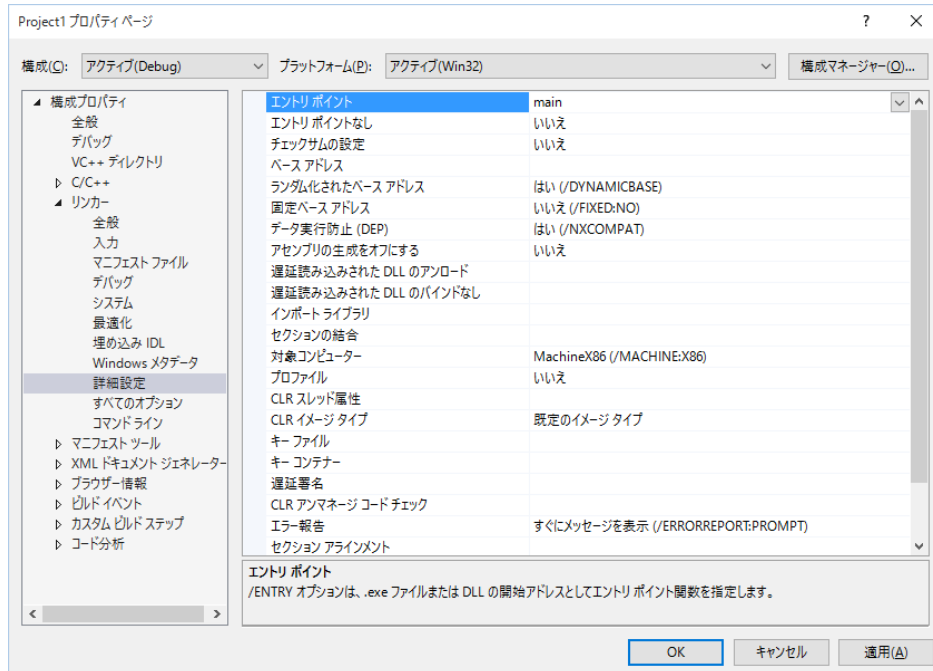
- ⑥ ③同様にメニューバーのプロジェクト(P)-プロパティ(P)を選択して、プロパティページを以下のとおり編集します。

- ・構成プロパティ-リンカー-システム-サブシステム
Windows (/SUBSYSTEM:WINDOWS)

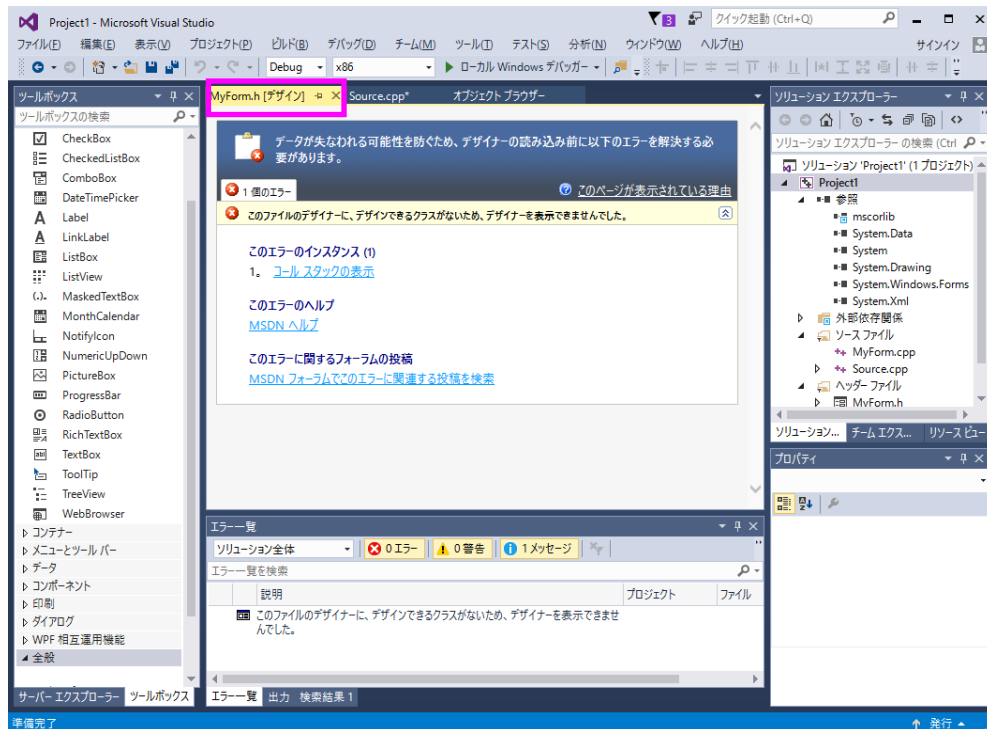


- ・構成プロパティ-リンカー-システム-エントリポイント

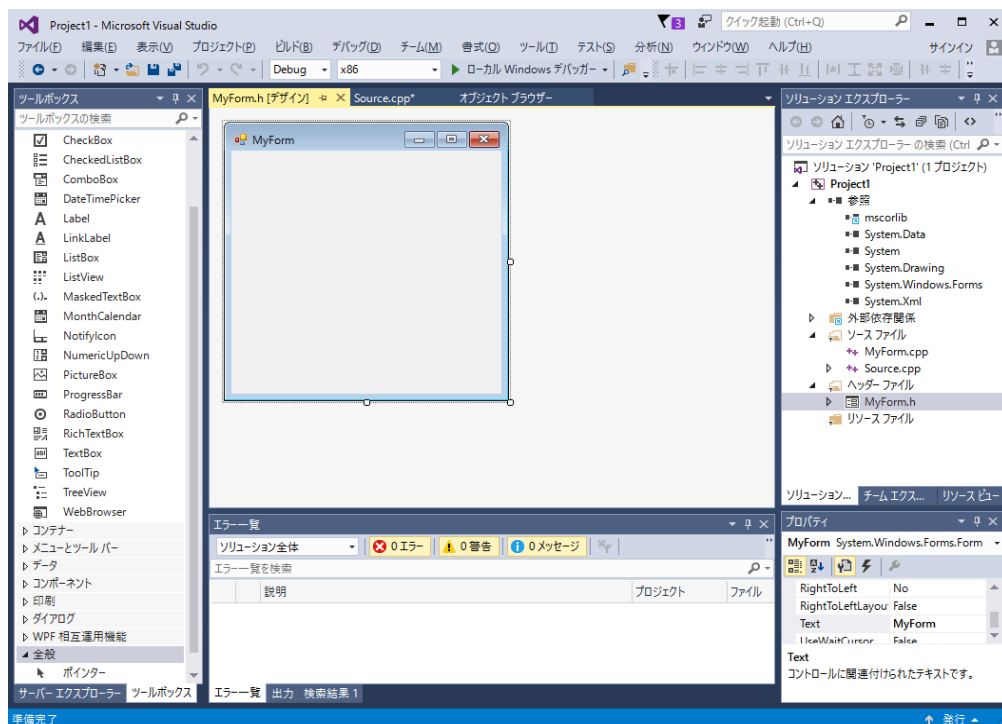
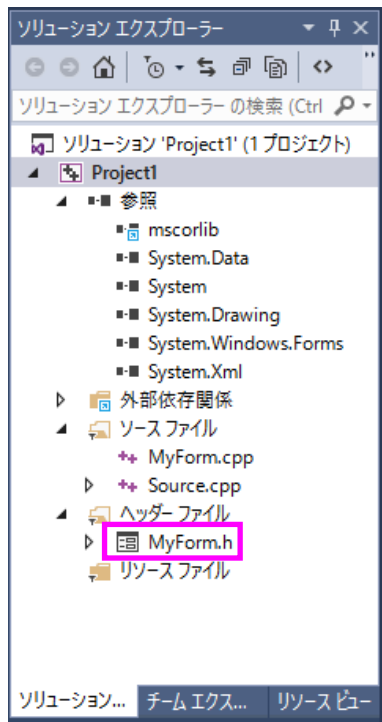
main



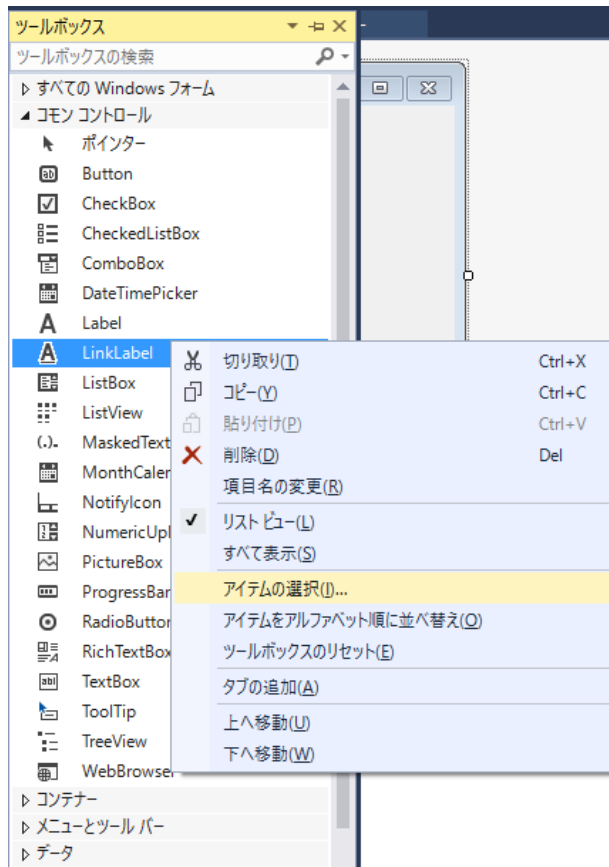
- ⑦ ③で追加したフォームを開き、エラーとなっている場合は「×」をクリックして画面を閉じます。



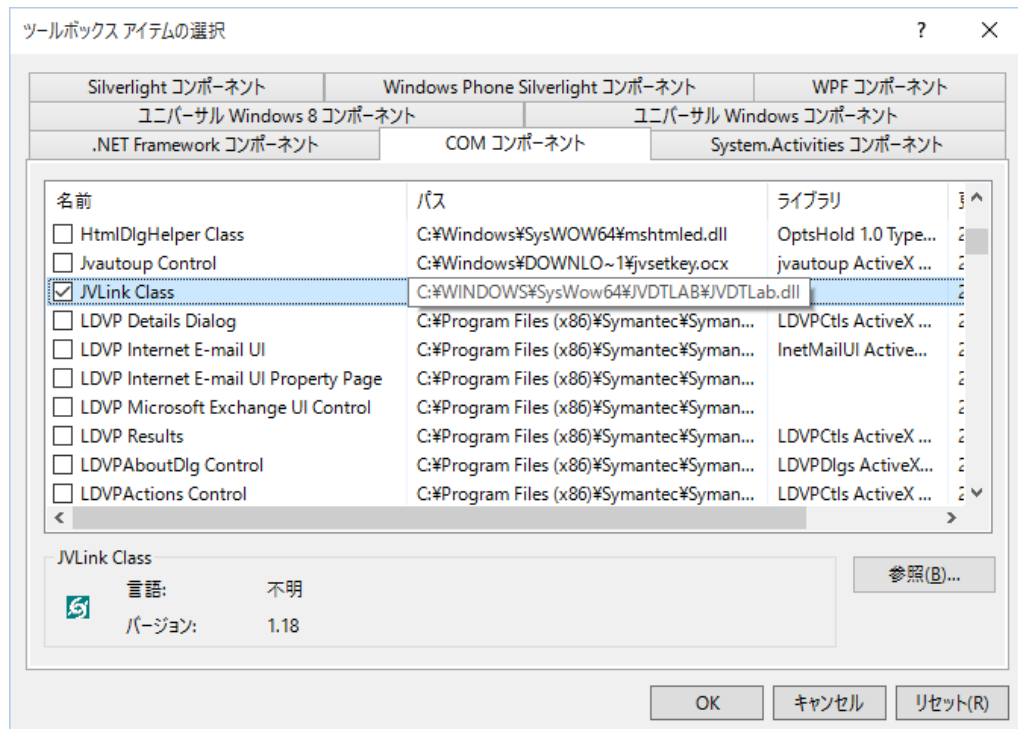
ソリューションエクスプローラーより、同フォームをダブルクリックして画面を開きなおします。フォームデザインが正しく表示されます。



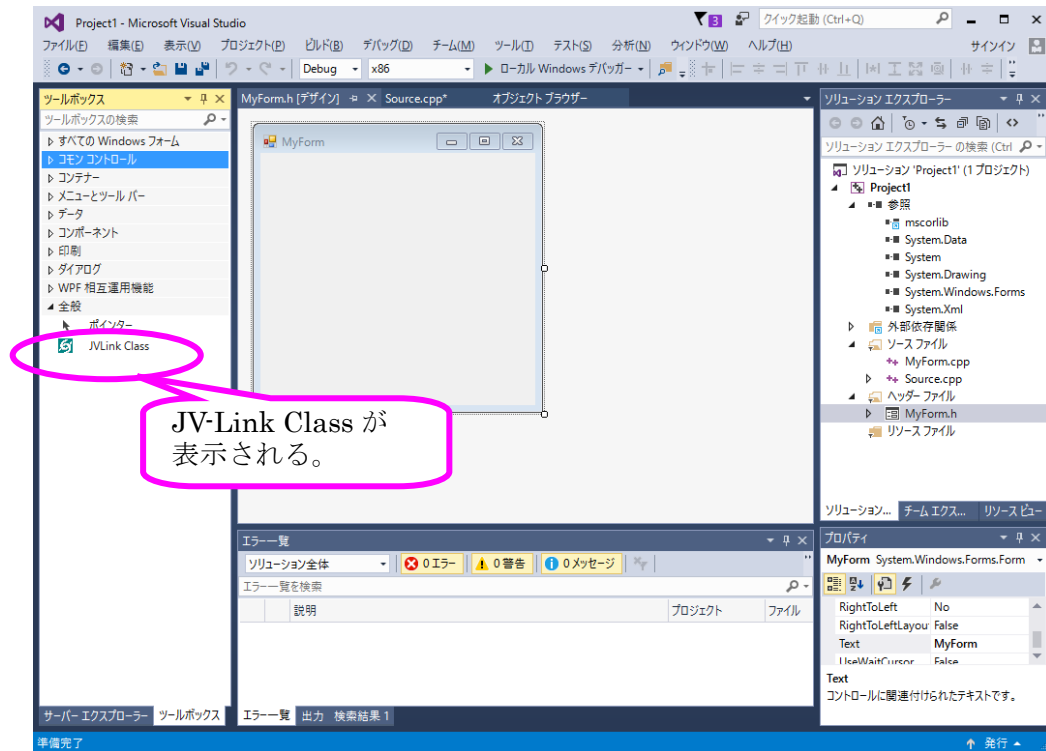
- ⑧ ツールボックスのコンテナ上で右クリックしてポップアップメニューを表示し、「アイテムの選択」を選択します。



- ⑨ COM コンポーネントページの「JVLink Class」にチェックを入れて「OK」をクリックする。



- ⑩ コンポーネントの中に、JVLink Class が表示されたことを確認する。



【 確認しよう 】

フォームに **JV-Link** を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。

※JV-Link が VisualStudio の背後に隠れてしまいますが、
使用に問題はありませんのでそのままお使いください。

